

客観的な指標の算出方法の公開について

1) 成績評価において客観的な指標の設定は、次の学則に則り実施

学則第八条（科目の評価）

科目の成績は、筆記試験、レポート及びその他の方法（以下「試験」という。）により評価する。なお、演習及び実習においては、平常の学習状態とともに諸記録、レポートを含めて総合的に評価することができる。

2 科目の評価は、A（80点以上）、B（70～79点）、C（60点～69点）及びD（60点未満）とし、C以上を合格とする。

成績（学修成果）評価については、各年度末までの試験の実施及び実習の評価を点数配分し、100点満点で評価している。

2) 客観的な指標の具体的な内容（指標の算出方法）及び客観的な指標の適切な実施状況

成績評価においては、客観的指標を設定するために、授業科目ごとの成績評価を点数（100点満点）に換算した上で、取得した点数の平均を求める仕組みを導入している。

各学年の平均得点と相対順位を把握する成績評価方法は以下のとおりである。

- ・全学生の学科目の総得点から平均を求め、「成績一覧表」により学年毎の順位を求める。

- ・学生の平均得点と相対順位をもとにした「得点分布表」により、学年ごとの成績の分布状況を把握する。

- ・下位 1/4 に該当する人数から、下位 1/4 に該当する指標の数値を算出した。

（客観的な指標に基づく成績の分布状況を示す資料）

平成 30 年度第 1 学年

学科名	看護学科	学年	1	学生数	75	
成績の分布						
指標の数値	～50点	51～60点	61～70点	71～80点	81～90点	91～100点
人数	0	0	0	16	52	7
下位 1/4 に該当する人数			19人			
下位 1/4 に該当する指標の数値			80点以下			